大学も節電に あの手この手

アイデア、ポスター競う

一橋大

一橋大学（東京都国立市）では、学生から節電案を募ってコンテストが開催された。アイデア部門とポスター・標語部門、計31件の応募の中から11件が1次審査を通過。6月29日に2次審査が行われた。

アイデア部門の最優秀賞に輝いたのは、商学部2年生でウズベキスタンからの留学生のサディノブ・オリムジョンさん。学生寮でフロア対抗節電合戦を行う企画。好成績をおさめたチームには部屋代免除などの特典をつけ、参加意欲を高める工夫をした。

一方、ポスター・標語部門は商学部4年の松石悠さんらの作品、「エゴ（EGO）をエコ（ECO）に」＝写真＝が最優秀賞に選ばれた。EGOのGの一部を消すとECOとなることを蛍光灯を模した文字で表現。「電気を消せば、あなたが変わる」のキャッチコピーで節電を呼びかける。

審査員を務めた小川英治副学長は「期待通りの応募者数。学生にも節電意識が根づいてくれれば」と狙いを語る。同大では3月の震災後、計画停電への対応として電灯の間引きや2月に改修した建物では全ての照明をLED（発光ダイオード）にするなどの省エネ化を進めた結果、今のところ節電目標は達成できているそうだ。

しかし大学側の取り組みの一方で、学生の節電意識が乏しいことが指摘されていた。「（文系大学なので）止めるだけで節電できる大型のコンピューターがない分全員が少しずつ努力しないと」と小川副学長。今後、冬場の節電対策を募集することも考えているそうだ。

また、学生向けの新たな取り組みも始まった。門をくぐると真っ先に目につくのが「電力週間予報」。向こう1週間の天気と予想最高気温とともに、大学が割り出した学内の予想電力使用量がグラフで表示される。〝危険水域〟に近づく予報が出た日には、節電意識も高まりそうだ。

計画停電の経験を生かしつつ学生の意識を高めることで、一橋大はこの夏を乗り切ろうとしている。【一橋大・菅原亮介】

「見える化」システム構築

東京大

「我慢する節電、やらされる節電ではなく、やりたくなる節電を」

東京大学（東京都文京区）は30％の節電に取り組んでいる。

この目標の達成に一役買っているのが東大グリーンICTプロジェクト（GUTP）だ。建物ごとの電力使用状況を、オンラインで1分ごとに確認できる「見える化」システムを構築した。

照明や空調、コンピューターなど項目別にチェックでき、現在は全キャンパスに導入されている。ホームページ上で確認できるだけでなく、一部の建物はツイッターとも連携している。

GUTPは08年に東京大学大学院情報理工学系研究科・江崎浩教授らが発起人となり発足した。

コンピューターが集中する工学部2号館が電力を多く消費していることから、将来につながる解決法を模索しようと、産学連携の研究プロジェクトとして始まった。以前からその過程で、各システムの電力使用量の「見える化」を実施しており、震災後に功を奏した。

さらに工学部2号館では約100ある研究室ごとに電力使用状況をチェックできる。そのおかげで、教員や研究室の学生それぞれが責任をもって電力使用を管理できるようになった。例えばLED照明で節電した分、来客があった時に空調の温度設定を我慢せずに済む、といった協調的な節電も可能となった。

江崎教授は研究室に所属する大学院生と共に、各研究室に過去の電力使用状況のデータを提供し節電を促す。その際、例えばコンピューターを省エネ化するといった節電方法も提案している。実際に節電して電力使用量を減らした研究室や、節電の方法を研究室同士で共有している事例もある。

「節電の結果が目に見えれば、進んで節電をしたくなる」と江崎教授は話す。今後は研究室ごとの「見える化」を全キャンパスで実現していく予定だ。【慶応大・草間さゆり】

栄村の映像配信し募金活動

「ボランティアや支援は継

イガクTV」の仲間やジャーナリストの藤原勇彦さんらが同行し、村全域を取材。住民の話や土砂崩れの現場など10時間以上を収録し、約10

けは高校時代に取り組んだ映画制作。人の心に影響を与えたいという思いから、映像制作の経験を積んだ。「今回はとりあえずやってみようと行

女子W杯 なでしこ ジャパン、世界一!!

▼「早朝の応援ありがとう 気遣いに泣いた……（中

▼明け方だったけど、今 ！（明治②女）

▼「なでしこ」が咲き誇っ もついに世代交代!?（

▼理屈じゃなくて、勝て た!!（東京外大③女）

▼1点目のゴールでうる 2点目の時、一緒に叫

▼日本の女性は強くて、 らえました（日本②女

▼「おまえら、何のために 言われた男子サッカー

▼起きていられず寝てし がとう!!……と私も言

りの1年生は「募集のポ　よる省エネパトロールで　（4年）は話す。

ペットボトル　月　写真も】

す　めたこのごろ。対 学との違いって何だろう 会〟を見下ろしている 場が大学生なのかもしれ よほどの決意がなけれ ない。でも、ふと下をみ る。見るか見ないかは自 のまま歩道橋を渡り終え 迷ったけれど高速道路 まだあの速い流れになム しだけよそ見は許され て、準備ができたら、思 び込もう。